

文化祭中に始まった陸上部の近畿大会。全国大会への最終関門となります。私自身が陸上部の顧問であったため、15日と16日は応援に長居スタジアムへ行ってきました。文化祭中も気にはなっていたのですが、400mで3位に入った竹内選手、棒高跳びで2位に入った吉田選手の2名が全国大会出場を決めており、その他の種目も惜しいところで決勝進出を逃すといった情報は山田先生、平野先生から入っていましたので、土日の勝負を見極めたいと思い、駆けつけた次第です。久しぶりの緊張感あふれる大会に接し、気持ちの高ぶりを抑えきれませんでした。



私が足を運んだ15日・16日の結果は、まず女子棒高跳で、2年大坂谷選手が3m80の自己新で2位に入賞(1)。幸先良く全国大会出場を決めました。続く400mで全国出場を決めた竹内選手は、200mに出場(2)。決勝まで駒を進めましたが、コーナーのきつい2レーンに対応できず8位。この種目での全国出場はなりません(2)。男子400mHに出場の2年飯牟田選手は、最終ハードルまで2位争いをしましたが、折からの強風にあおられ4位入賞にとどまりました(3)。それでも全国大会出場を決めました。男子走高跳に出場した1年播田選手(4)、2年武政選手(5)は、ともに予選から好調で、大いに期待が持てました。その期待通り二人とも自己新の跳躍で、武政選手が2位、播田選手が3位に入賞して全国出場を決めました。そして迎えたマイルリレー。予選は悪天候のため中止となり、翌日の準決勝の時間に延期。予選から全力での戦いを強いられることになりました。どのチームも同じ条件とはいえ、厳しさが募ります。迎えた最終日。男子三段跳の2年生は力を発揮できず予選敗退。男子110mHも2名の選手が準決勝で敗退。残念な結果が続く中、マイルリレーの予選が開始。1組から好タイムが続出し、かなりの緊張感が高まる中、本校の組が始まりましたが、4名の選手は力通りの走りです。県大会のタイムを縮め、全体2番目のタイムで決勝進出。スタンドの応援が最高潮に達する中、全国大会出場をかけた決勝を迎えました。第1走者飯牟田選手は、前半から積極的な走りで後半も崩れず、トップと並ぶようにバトンを第2走者久保田選手へ(6)。久保田選手は、前半快調な走りでしたが、後半厳しい走りに。(後で話を聞くと200過ぎから足の不調でペースが上げられなかったとのこと。)第3走者下方選手は、予選に続き素晴らしい走りを展開。第3走者としては理想的な走りで順位を上げ、アンカーの竹内選手へ(7)。竹内選手はバトンをもらって混戦を抜け出すように2位に上がり、最終コーナーからラストの直線へ。最後に一人かわされましたが3位でゴール。2年連続7位に泣き、全国出場を逃していただけに嬉しい全国大会出場です。走り終わった後の久保田選手の「俺を全国大会へ連れて行ってくれてありがとう。」という言葉が大変印象的でした。表彰式では(8,9)最後の種目だけに、閉会式まで時間があるので、表彰台での記念撮影やその後も学校ごとの記念撮影。嬉しさに包まれる中、私は帰路につきました。総合でも3位に入り、惜しい種目も多くありましたが、4日間の戦いを終えました。月曜日の神戸新聞の朝刊には下方選手から竹内選手のバトンパスが新聞掲載され、日本一を目指すという心強い宣言やコ

メントも掲載していただきました。選手の皆さん、顧問の先生方お疲れ様でした。沖縄の全国大会でさらなる結果を出してくれることを期待しています。

時を同じくして行われていたNHK杯高校放送コンテスト兵庫大会決勝。放送部の3年西村夢乃さんが優秀賞に輝き、全国大会出場を決めました。こちらは東京で行われる大会に出場するということです。昨年度全国総合文化祭への出場が決まっている美術部と併せて、文化部からの全国大会出場となりました。本当におめでとうございます。全国大会では、持てる力を存分に発揮して充実した大会にしてきてほしいと思います。

さて、文化祭も終わり、総体は残すところ今週末の水泳部のみ。健闘を祈るばかりです。そして月末に抽選が行われる甲子園への出場権をかけた高校野球兵庫県予選のある野球部。夏に向けて体調管理にはしっかりと気をつけて頑張してほしいと思います。

いよいよ梅雨に入ります(本当に入るのかどうかもわからない天気が続いていますが)。期末考査も控えており、1学期のまとめをしっかりとできるように取り組んでください。よろしく申し上げます。